



創立：1980年(昭和55年)1月10日
 会長：岩田 修司
 幹事：堀 慎治
 クラブ広報委員長：湯澤 勇生
 例会日：毎週木曜日PM12:30～
 会場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008
 名古屋市中区栄1丁目3-3
 ヒルトン名古屋910号
 TEL：052-211-3803
 FAX：052-211-2623
 MAIL：2760.nagoya@mizuho-rc.jp
 URL：http://www.mizuho-rc.jp/

WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

2014～2015年度
 国際ロータリーのテーマ
 Light up Rotary
 ロータリーに輝きを

2014～2015年度
 国際ロータリー第2760地区
 ガバナーのテーマ
 集まるう・語るう・楽しもう

2014～2014年度
 名古屋瑞穂ロータリー会長のテーマ
 感謝の気持ちを持って、
 ロータリーライフを楽しもう

第1690回例会

～ロータリー識字率向上月間～
 クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2015年3月26日(木) 晴れ 第37回

司会：大嶽達郎会場副委員長
 斉唱：「日も風も星も」

会長挨拶

岩田修司会長

今日は、明治・大正・昭和にかけて、国民的歌手として親しまれた若山牧水についてお話をしたいと思います。牧水の出生地は宮崎県でございます。早稲田大学の学生時代、宮崎県への帰省途中で、あえて中国地方の山中を歩き詠んだ



「幾山河越えさり行かば 寂しさの終(は)てなむ国ぞ今日も旅ゆく」

という歌に表れているように、生きる者の根源的な寂しさを見つめながら、歌を詠んだという事でございます。牧水は旅と自然と共にお酒をこよなく愛した漂泊の歌人と言われ、北は北海道から南は沖縄・朝鮮まで旅をしながら歌を詠み、一方で毎日一升以上のお酒を飲む大酒豪であったそうでございます。

“酒は心で嗜みしめる味わいをもつもの”という様な言葉でお酒を讃歌してやまない牧水で人生の悲哀を歌と酒で昇華しながら人生を歩いた人でございますが、残念ながら43歳という若さで亡くなったということでございます。生涯に残した歌7000首のうちお酒を詠ったものが200首に及ぶそうでございます。その歌の一部をご紹介しますと思います。

「白玉の歯にしみとほる秋の夜の 酒は静かに飲むべかりけり」

「人の世に楽しみ多し然れども 酒なしにしてなにのたのしみ」

というような歌が代表的な歌ではないかと思えます。その他に、牧水ではございませんが、お酒にまつわる川柳がございましたのでご紹介させていただきます。

「酒豪来て あわてて隠す大吟醸」

「いいじゃないの だめよ～だめだめ もう一杯」

「女子会と ナメてかかるな 皆酒豪」

「注ぎまわり 勘定渡され 目がまわり」

「三本目 妻の頭に 湯気が立ち」

中々、面白おかしく人生の機微や世相を表しているのではないかと思います。

最後に、私がつくった歌をご披露させていただきたいと思えます。

「春の夜の 花輝かし錦村 酒にまみれて 後悔の念」

駄作でございました。

ニコボックス

田中宏ニコボックス副委員長

・昨日の当RCのゴルフ例会では、三好CC東コース4番ホールにてホールインワン(エース)を達成いたしました。人生3度目のエースです。同伴競技者の内田さん、山本さん、大嶽さんに心より感謝いたします。尚、ホールインワン保険は一昨年解約してしまいました。80歳近くになってホールインワンは絶対に無いと思っていました。

野崎 洋二さん

・卓話を聞いて頂きます。宜しく願いたします。

近藤 雄亮さん

・野崎さんホールインワンお目出とうございます。体調を考えて程々に。

岩田 修司さん

・野崎さんホールインワンお目出とうございます。3度目と言わず4度目もやってください。

松波 恒彦さん

・先日のロータリーのゴルフ会で野崎さんがホールインワンを達成されました。お目出とうございます。

泉 憲一さん

・野崎さんホールインワンお目出とうございます。盛大にパーティーお願いします。

湯澤 勇生さん

・野崎さんホールインワンお目出とうございます。自分の事以上に嬉しく思います。

佐治 寛行さん

・昨日のゴルフ会、野崎さんホールインワン本当にお目出とうございました。7月の記念コンペ大変期待しております。

稲葉 徹さん

・久しぶりにホールインワンを見ました。野崎さんお目出とうございます。楽しみ、フッフ。

内田 久利さん

・野崎さん、昨日のホールインワンお目出とうございます。ご一緒の組で興奮しました。パーティー楽しみです。

大嶽 達郎さん

・昨日のホールインワンお目出とうございます。盛大なパーティー楽しみです。

関谷 俊征さん

・野崎さん、昨日はお目出とうございました。あやかって、上手になりたいと思えます。

山本 英雄さん

・野崎さん、ホールインワンお目出とうございます。高村さん、山口さん、湯澤勇生さん、ご迷惑をかけました。

亀井 直人さん

・野崎さん、ホールインワンお目出とうございます!!

湯澤 信雄さん 長瀬憲八郎さん 近藤 茂弘さん
 渡辺喜代彦さん 田中 宏さん

出席報告

田中宏出席副委員長

会員63名 出席42名 (出席計算人数44名)

出席率 87.5% 3月19日は補填により 87.8%

幹事報告

梅村昌孝副幹事

・4月2日(木)第10回理事会をヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて行います。

委嘱状授与

・岩田修司会長より、近藤雄亮さんに「地区大会企画委員会委員」「地区指名委員会委員」の委嘱状が送られました。

委員会・同好会報告

ゴルフ部会 3月度(第357回)

開催日:3月25日(水)

| 氏名 | グロス | HDCP | ネット |
|-----------|-----|------|-----|
| 優勝 堀 慎治さん | 76 | 0 | 76 |
| 2位 星野一郎さん | 101 | 23 | 78 |
| 3位 山本英雄さん | 96 | 16 | 80 |

第358回4月度ゴルフ例会は4月17日(金)、愛知カンツリー倶楽部に開催されます。

3月21日・22日の2日間に亘りましてRYLAセミナーを行いました。これで、ガバナー公式訪問とガバナー主催の二つの大きな行事、地区大会とRYLAセミナーを終える事ができました。

思い起こせば昨年7月、不安の中でスタートしましたが、大勢の会員のご協力とご支援のもと、現在まで滞りなくガバナー職を務めることが出来ました。少し誤算だったのは、既に30以上原稿を提出しましたが、こんなに多く原稿書きがあるとは予想しておりませんでした。

今後、4月に他地区の地区大会2ヶ所に出席をし、5月にはマレーシアボルネオ島のコタキナバルへV.T.T.の関係で訪問致します。6月にはサンパウロ国際大会に行きます。そして6月20日地区役員・会長・幹事懇談会で大きな行事は終わります。途中各地区の委員会、諮問委員会、クラブの周年記念行事、ローターアクトの行事もあります。あと3ヶ月少しありますが、いつも初心で頑張りたいと思っています。引き続きご支援の程、宜しくお願致します。

これから私が公式訪問をした時の印象をお話しさせていただきます。



例会出席の重要さ

私は地区方針として「集まろう・語ろう・楽しもう」を掲げましたが、例会に出席することが大変重要だと思っています。如何に出席率を上げるかがクラブ運営の重要課題の一つだと思います。クラブ事業が活発に行われ、雰囲気の良いクラブの出席率は高く、逆に暗いクラブの出席率は低く、活気がなく、クラブ事業もあまりやられていないと感じました。出席率を上げるために苦勞をしているクラブも多く見受けられました。

ロータリーの価値とは

ロータリーは世界で良いことや、奉仕をしようという意思を持った、多様性のある職業人の集まりであります。この特色を持った団体としての価値が薄らいでいるのではないのでしょうか。本当に価値を見つけ、楽しんでいるか疑問です。各クラブでお話をさせて頂いた中で思ったのは、我々が行う奉仕活動の中に、ときめきや感動を見出した時、その行動そのものがロータリーの持つ価値観だと思いました。これは私が国際協議会、国際大会で感じたことと同じだと思っています。

広報活動の重要さと難しさ

ロータリーは活動を具体的に何をしているか知る必要があります。また、具体的な活動内容を知らしめる事が感動のシェアに繋がると思います。

情報伝達手段も、ロータリーの友、ガバナー月信、ホームページ、各クラブへお願い事の発信など色々ありますが、会員に情報が伝わっていない場合があります。どうしたら内に向かっての広報活動、外に向かっての広報活動と情報伝達がスムーズに確実に出来るかを工夫する事が重要だと感じました。

ロータリーは本当に今の若い世代の人達に理解され受け入れられる魅力のある団体でしょうか？

年会費が高いという意見が出ますが、尾張、名古屋、三河では年会費がかなり違います。既にそれぞれの地域で食事や例会会場、ウィークリーの手作りなど、考えてやられています。年会費だけの問題とは思えません。

クラブに自主性があるなら、型にはまらない例会運営があってもいいと思います。例えば、例会が始まる前に食事タイムを取り、食事タイムはもとより、例会時間内において、少しでも多くの会員同士の話し合いが出来る時間を取っているクラブがいくつかありました。例会を重視し「集まろう・語ろう・楽しもう」を実践していました。これも一考だと思います。

世代間格差の問題

チャーターメンバーを含め、ベテラン会員や新入会員の活躍の場、交流の場を

如何に作っていくかが重要と思われました。中には入会間もなくクラブの重責を担っている会員もいましたが、私はチャンスがあれば積極的に役を受け、頑張ってもらいたいと思います。役を持つことによって、一層ロータリーの勉強をし、理解度が高まり知り合いも増えると思います。

ベテラン会員は、ロータリーの事や、そのクラブの歴史を十分知っているの、ロータリーの先輩として、人生の先輩として、後輩の育成にあたって頂きたいと思っています。

会員数の少ないクラブの悩み

若手会員の入会が難しい、或いは入会してもすぐ辞めてしまうという悩みを聞きました。この悩みは会員数がまあまあいるクラブでも同じであります。

私は無理に若い人達を入会させるのではなく、ロータリアンとして相応しく、クラブの平均年齢を下げる人なら良いと思います。5年、10年計画で平均年齢を徐々に下げていけば良いと思います。地域性も含め、自分のクラブの適正人数が何人なのかしっかり把握することが必要だと思います。

大事なのは会員が如何にときめき、感動を持てる事業をやり、如何に楽しい例会運営をするかという事だと思います。

演台の前に認証状がかけられているクラブがありました。新会員も含め、会員にクラブの歴史、重みを自覚させるために大変良いことだと思いました。

会員減少による奉仕事業の見直しについて

以前から取り組んでいる奉仕事業の継続が、会員数減少のため予算的に厳しくなり、続けるかどうかをクラブで議論しているという話がありました。もし、その奉仕活動が地域密着型でやりがいのあるものであれば、他クラブとの合同、或いは分区内クラブの共同事業として見直すことも必要だと思いました。

地区内における各種会議が以前に比べ多すぎるのではないかと

地区内会議を、会員一同集まって会議することは知り合いを増やすという意味合いからすれば、大変重要だと思えますが、遠隔地のクラブの事を思うと、ウェブを利用して教育や事例発表を取り入れたら良いのではないかと思います。確かに、往復の時間を考えれば大変だという事が、そのクラブへ訪問することによって理解できました。

ロータリー活動には家族の理解が欠かせない

ロータリー活動を楽しみながらやるには奥様はじめ、ご家族の理解が大変重要だとおっしゃっていたクラブがありました。そのクラブは年間計画の中に、ご家族のことを考えた例会を多く持たれていました。青少年交換、米山記念奨学生のホストファミリーなど引き受ける場合は特にそうだと思います。

第2760地区は素晴らしい地区である

地区内クラブを回ってみて、色々問題を抱えながら、運営を行っているクラブが沢山あることが分かりました。しかし、一旦身を地区外において、地区内を見た時、こんな素晴らしい地区はないと自負しても良いと思いました。外から内を見る機会をもっと持ってほしい、そして自信を持って活動をしてもらいたいと心から思いました。皆さん頑張らしましょう。

例会のご案内

■今週の卓話

4月2日(木)

テーマ：カッティングツールについて
会員卓話：岩田吉廣さん

■次週の行事

4月9日(木) なごやか例会

場所：ヒルトン名古屋4階「桜の間」
時間：18:00～20:00

■次々週行事

4月12日(日) 春の家族会

場所：ホテルオークラ別邸「粟田山荘」